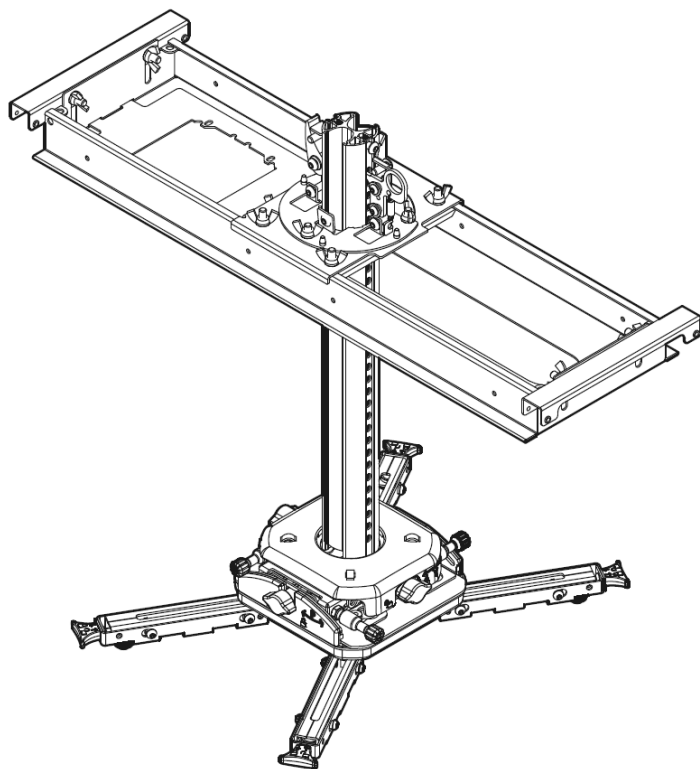


取扱説明書



システム天井用プロジェクターシーリングマウント 型番 SYSAU



SYSAU

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むプロジェクターおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 天井の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

 **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

 **警告**：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やプロジェクターの落下につながり、非常に危険です。

 **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

 **警告**：プロジェクターの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。
またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

 **注意**：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に**■設置場所について**

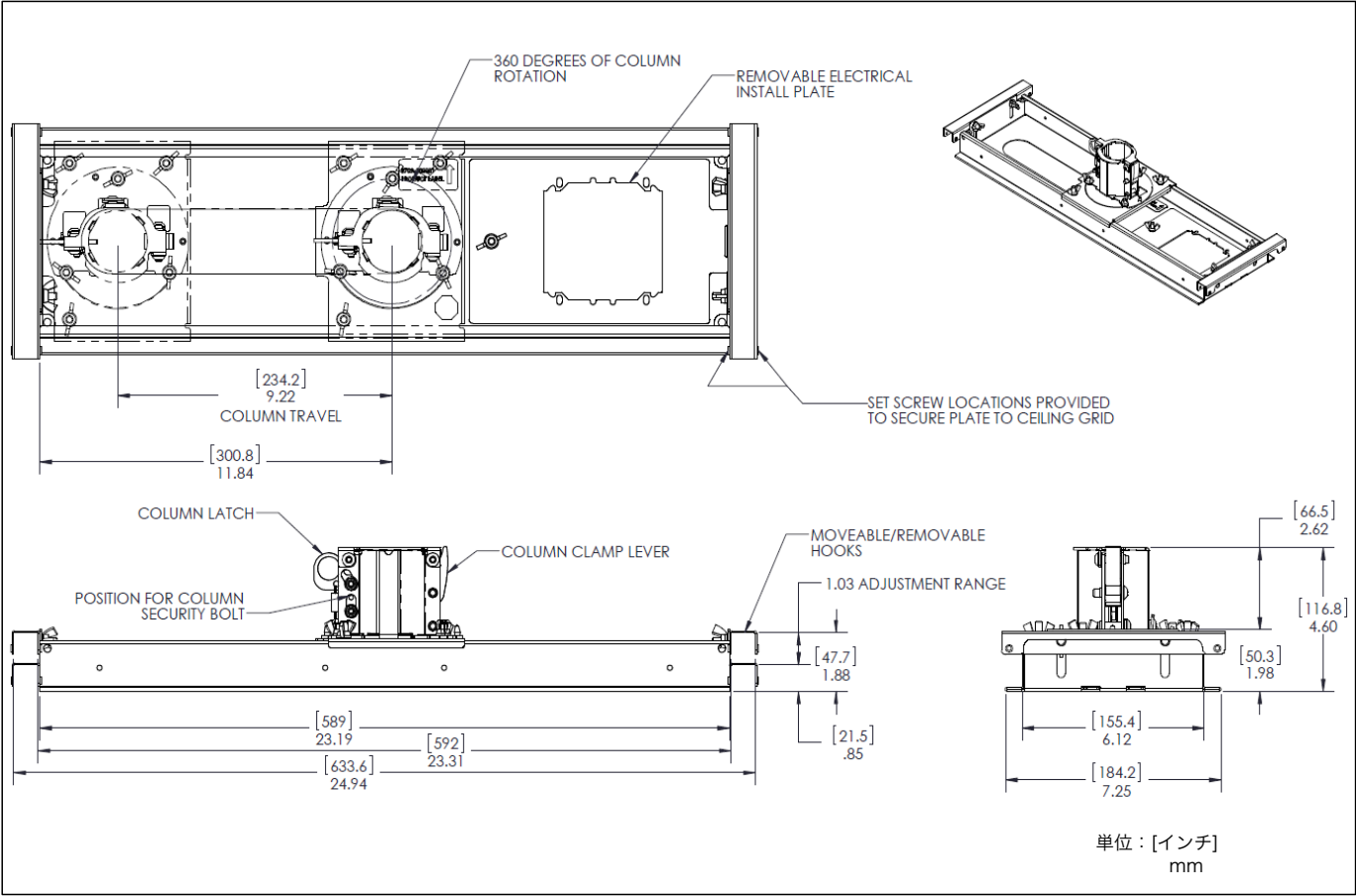
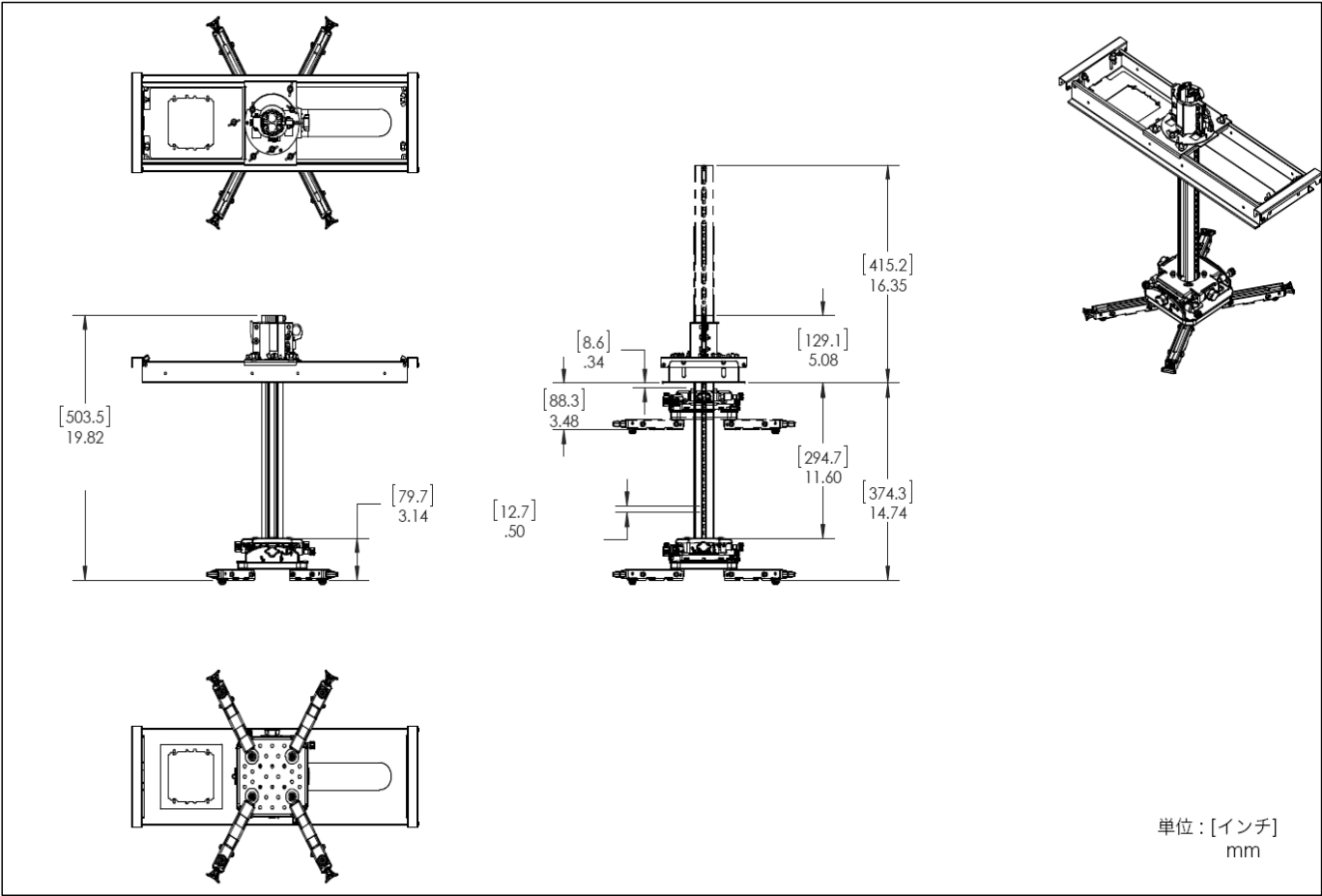
- 本製品とプロジェクターを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、プロジェクターと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの天井面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

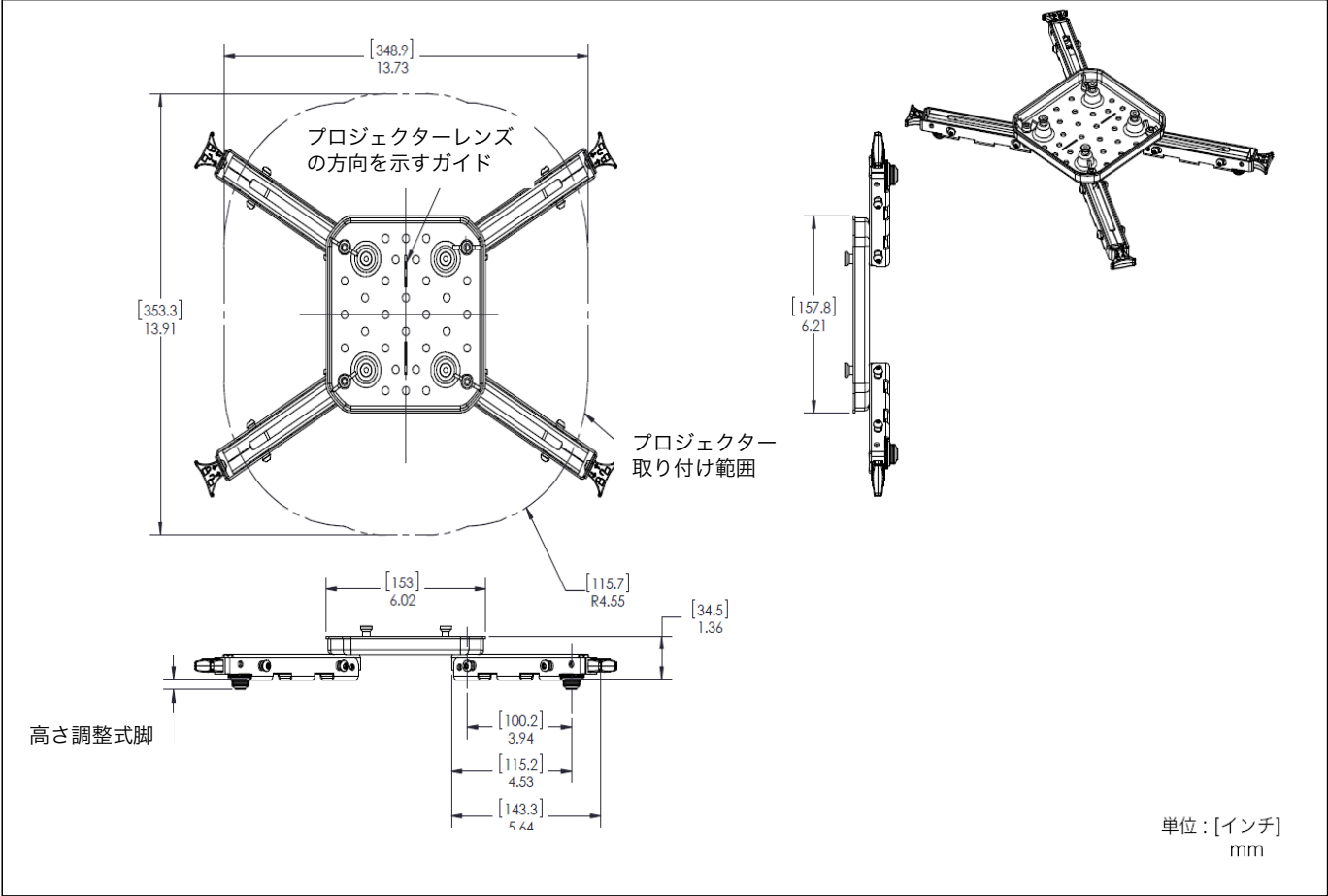
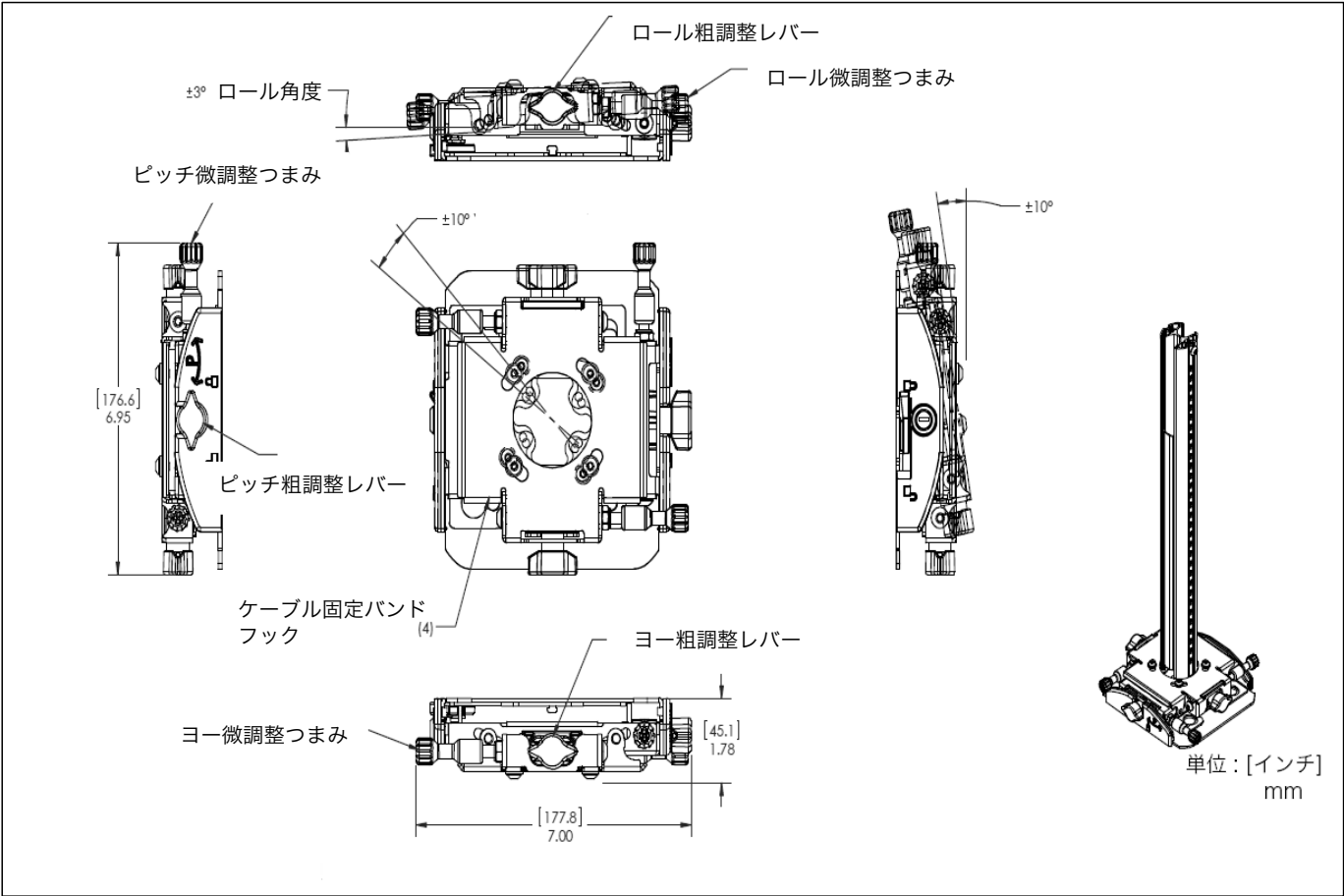
■設置方法

1. 本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みのうえ、適切な取付場所を決めてください。
2. 設置する天井構造物に対応した取付金具（CHIEFオプション品）、アンカー類やネジ等は、適切で十分な強度を持ったものをご用意ください。必要に応じて構造物に適切な下穴処理やアンカー固定を行なってください。
3. 設置する構造物の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
4. 本製品を構造物にしっかりと取付けてください。

■各寸法図

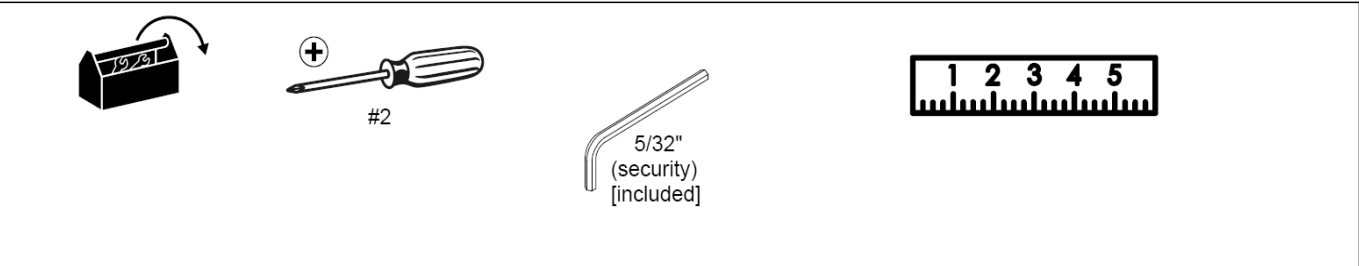


■各寸法図



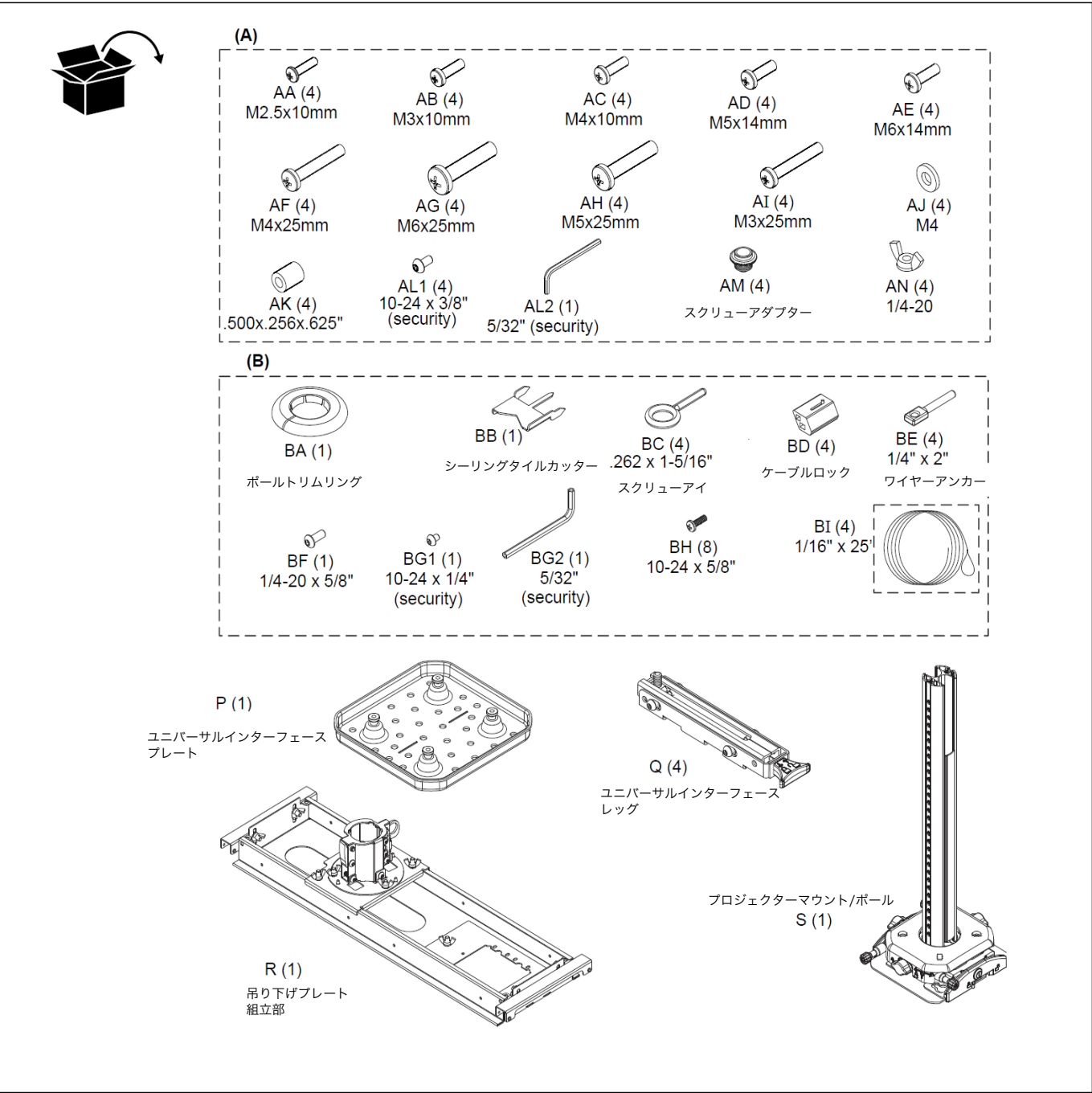
組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。

■本製品の封入物



■組立と据付け

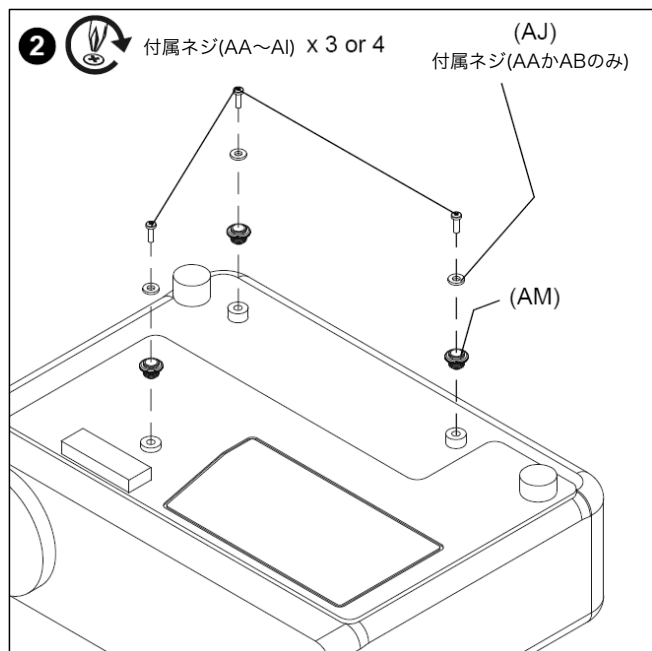
プロジェクターにインターフェイスを取付ける

警告：本製品の耐荷重を超えて使用することは、人や他の設備に深刻な被害が発生することがあります。
⚠ 取り付け業者の責任において、本製品に組み合わせる全ての機材の合計が、耐荷重の制限の範囲（15.9kg以内）を超えないように設置してください。

注意：適切でないネジを使用することは、プロジェクターに損傷を与えることがあります。
⚠ ネジの径や長さは適切なサイズのものを使用してください。

1. プロジェクターにネジを取り付ける際は、適切な径のサイズを付属ネジ（AA） - （AE）から選択してテスト的にひとつ仮組みして適したものであるかを確認してください。
2. 付属（AA）と（AB）のネジを使用する場合は【図-1】のように（AJ）のワッシャを介して高さ調整ナット（AM）に固定するようにしてください。

重要：プロジェクターを取り付ける際に使用するインターフェイスレッグは少なくとも3セット、可能な限り4セットすべて使用して取り付けてください。

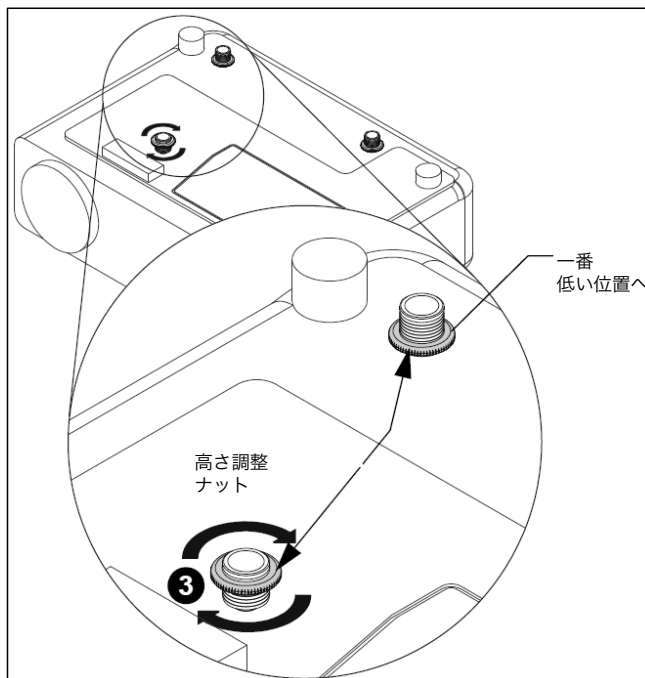


【図-1】

3. 高さ調整のナットを必要な高さに付属ネジ(AM)も合わせて調整します。

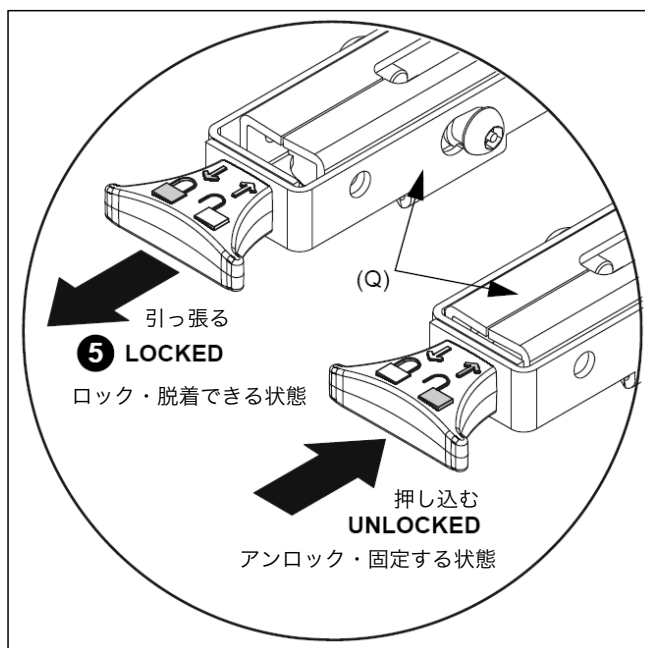
NOTE：はじめは【図-2】のように高さを低めにします。

重要！：（AF）および（AI）の長いネジと（AK）のスペーサーは、プロジェクター背面の取り付けネジのそれぞれの高さが、高さ調整ナットを用いて水平レベルを調整できる範囲を超えた場合に高さ調整ナットとプロジェクターの間にスペーサーをはさんで調整してください。



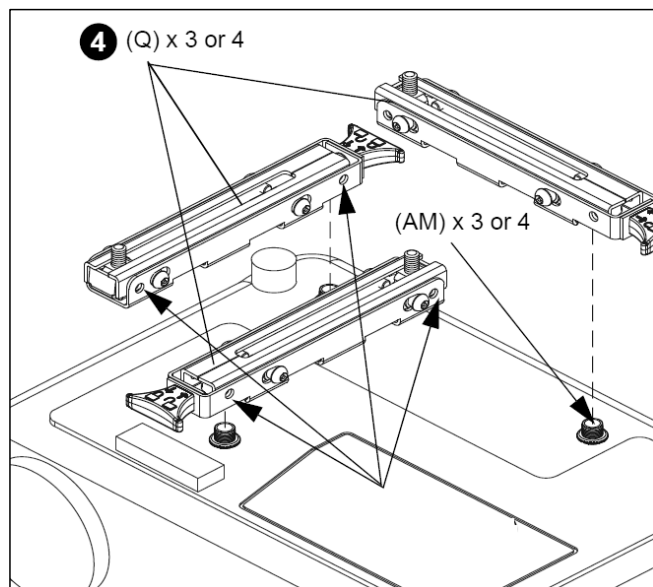
【図-2】

NOTE: 【図-3】のように、インターフェイスレッグはアンロック状態になるように押し込んでおいてください。



【図-3】

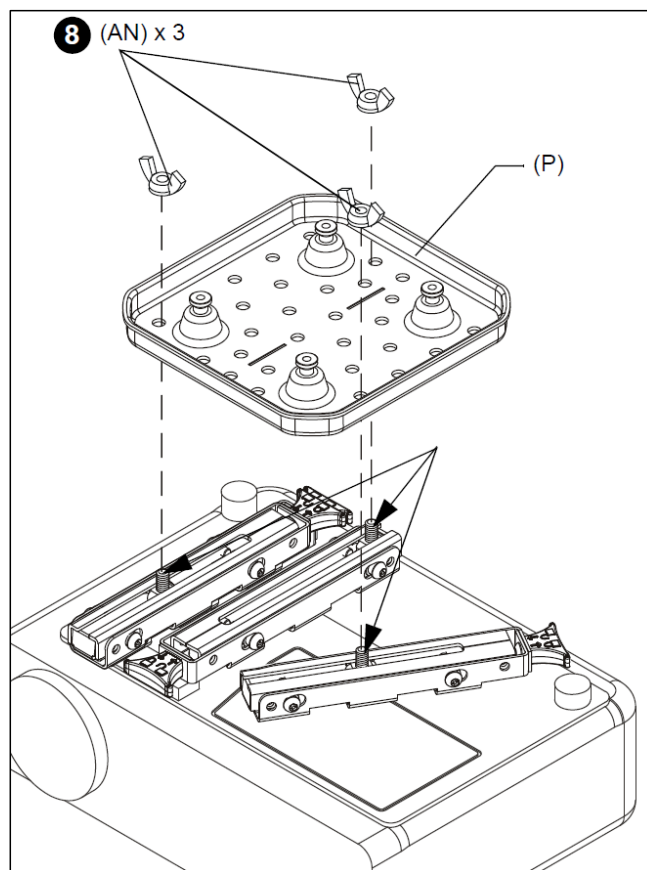
プロジェクターにインターフェイスを取付ける（続）



【図-4】

4. 【図-4】のように、インターフェイスレッグ(Q)の丸い溝の部分にスクリューアダプターがかぶさるようにしてください。
5. 次に、インターフェイスレッグのロックレバーを押し込んでください。するとロック状態となりますので、インターフェイスレッグがはずれないか確認してください。
6. 5.の取付を残りのインターフェースレッグでも行ないます。
7. 必要に応じてここで図のようにセキュリティネジ (AL) を (AL2) のLレンチで取り付けてください。

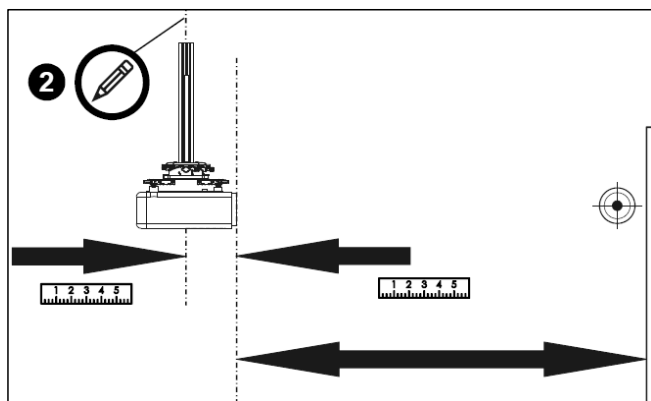
警告：ユニバーサルインターフェースレッグスは必ず
⚠ しっかりとプロジェクターに取付けられていることを確認してください。正しく取付けられていないとプロジェクターの落下等重大な事故につながる可能性があります。



【図-5】

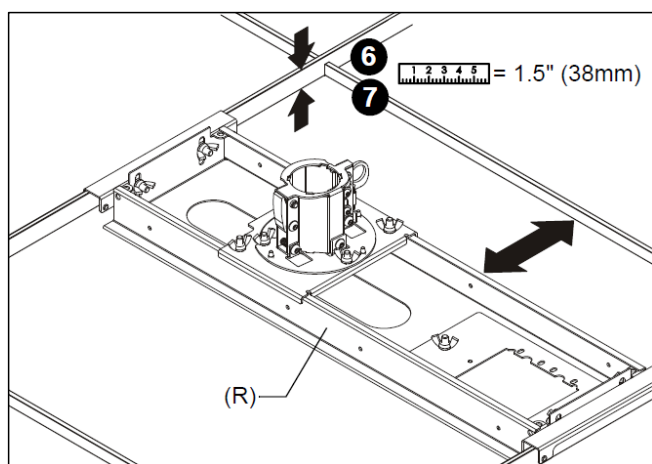
8. 【図-5】のように、インターフェイスプレート (P) の任意穴にインターフェイスレッグのスライドスcrewがバランスよくはまるようにして、付属蝶ネジ (AN) でしっかりと固定してください。

■ 吊り下げプレートの取り付け



【図-6】

2. プロジェクター投影位置を決め、ポールの設置位置を決めてください。このときポールが一番低い位置で測定します。
3. 設置する場所の60x60cmグリッド天井を外し、取付準備をします。必要に応じて隣接するグリッド天井も作業前に外しておきます。
4. サスペンデッドシーリングプレート天井グリッドに乘せる場合は、天井グリッドの適切な場所にポール分の穴を開けます。
5. 穴を開けた天井グリッドを元の場所に戻します。
6. サスペンデッドシーリングプレートを5. の天井グリッドに乗せて設置します。【図-7】



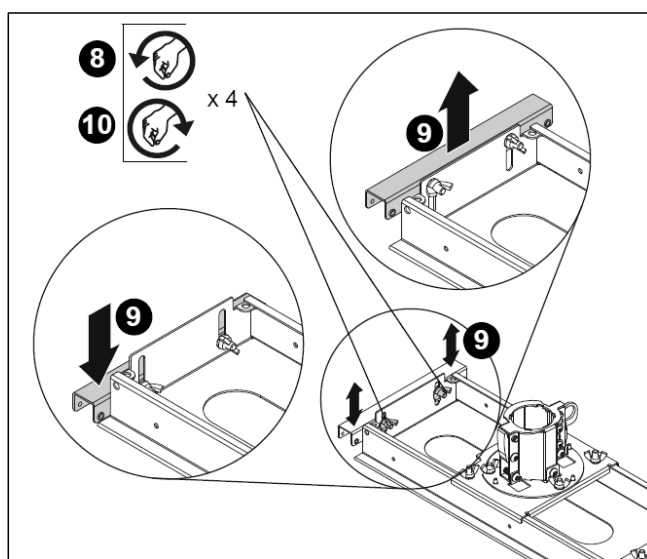
【図-7】

7. サスペンデッドシーリングプレートをシステム天井と同じ高さで挿入させる場合は、【図-8】のようにグリッド天井の端のフレームにひっかけるようにします。

8. 【図-8】のように、蝶ネジを緩めます。

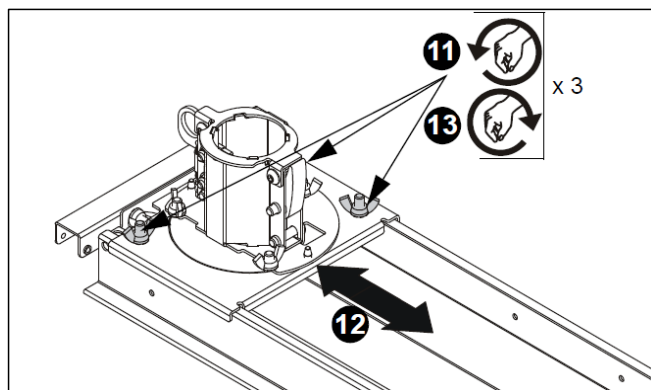
9. 【図-8】のように システム天井のフレームからの高さにあわせ調整します。

10. 蝶ネジを締め直します



【図-8】

■ 吊り下げプレート（サスペンデッドシーリングプレート）の取り付け（続き）

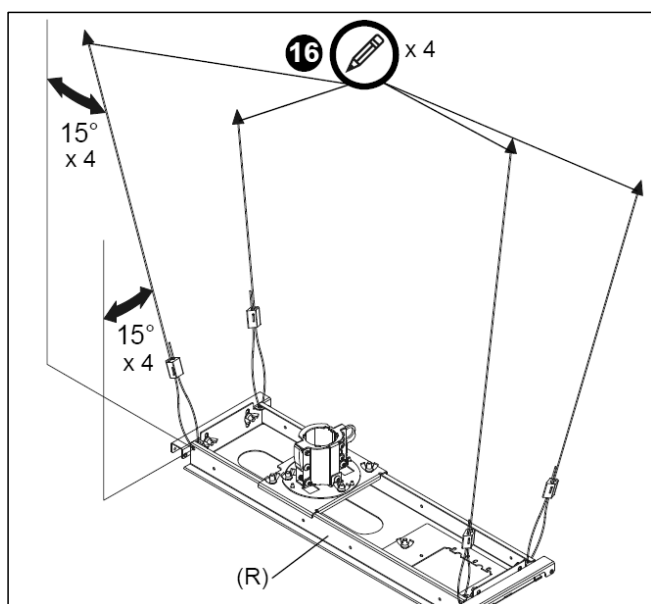


【図-9】

11. 【図-9】のようにシーリングプレート(R)の上部蝶ネジ3箇所を緩めてポール水平方向位置の調整をします。

12. ちょうど中央位置はガイド穴が開いています。

13. 蝶ネジを締めて位置を固定します。



【図-10】

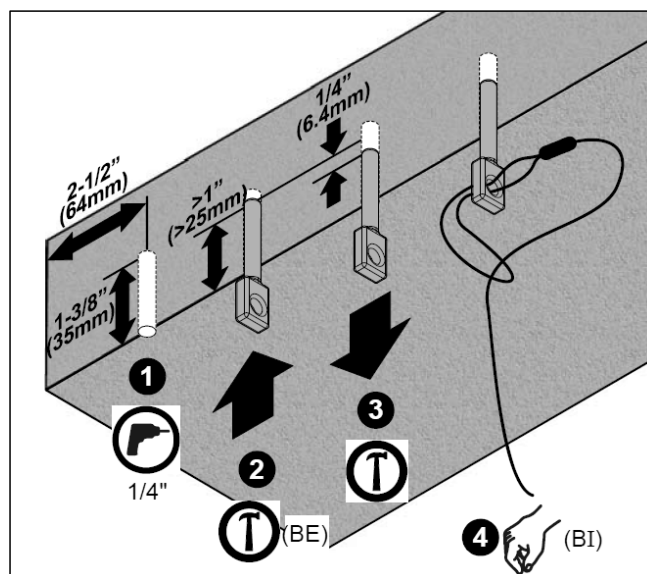
14. 【図-10】のようにシーリングプレート(R)を躯体部分に補強できます。

15. ちょうど中央位置はガイド穴が開いています。

13. 蝶ネジを締めて位置を固定します。

■ サポートケーブルの設置

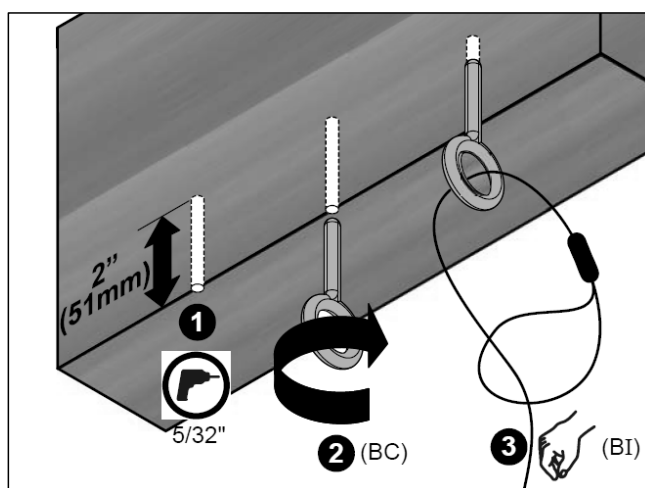
- ・ 【図-11】、【図-12】を参考に天井躯体に付属のサポートケーブル（ワイヤー）を取付けてください。



【図-11】

コンクリート躯体の場合

- ・ 少なくとも厚みが102mm(4インチ) 以上あるコンクリートにのみ使用できます。



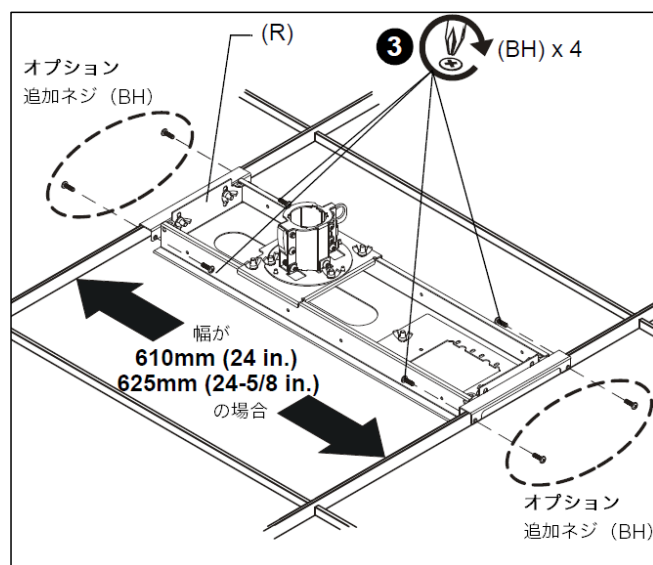
【図-12】

木材の場合

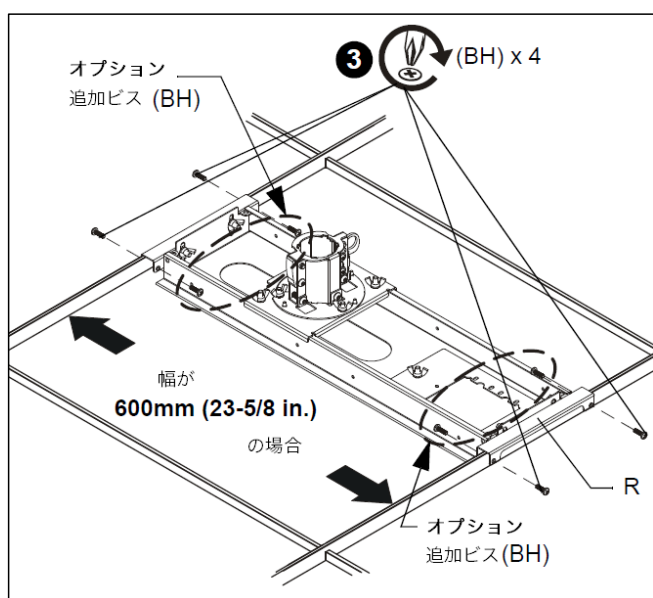
- ・ 木材に固定する場合、少なくともサイズが89 x 38mm(3-1/2x1-1/2インチ) 以上ある木材にのみ使用できます。アンカーはその木材を採用した場合、短辺(38mm)の面の中央にアンカーを取り付けるようにしてください。

■システム天井への取付

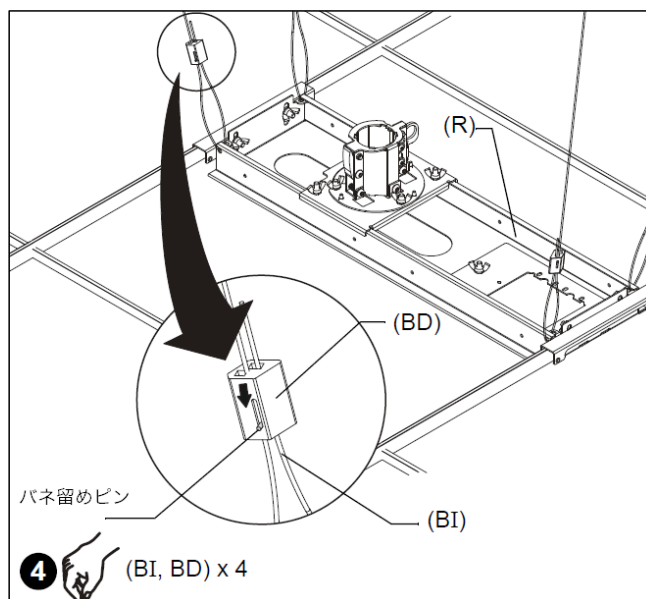
- ・天井タイルの上に載せる場合は、吊り下げプレート組立部 (R) ごと元に戻してください。
- ・【図-13】 グリッド天井幅が610mm～625mmの場合、および【図-14】 グリッド天井幅が600mmの場合をご確認いただき、吊り下げプレート組立部 (R) が動かないように付属ネジ (BH) で固定します。



【図-13】



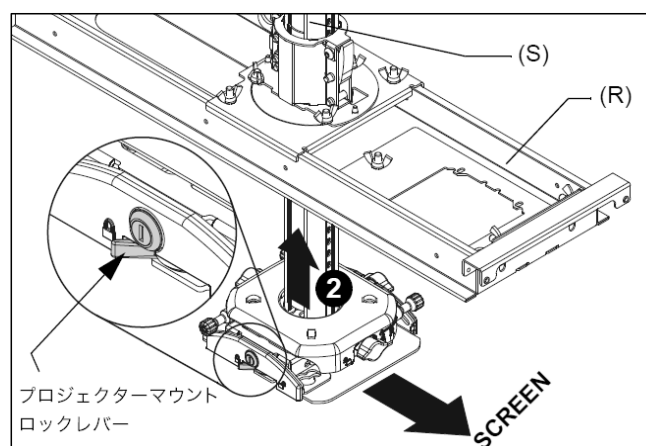
【図-14】



【図-15】

- ・【図-15】のように吊り下げプレート四方のワイヤーでセット全体の荷重を持たせるようにして、緩まないようにしっかり留めます。

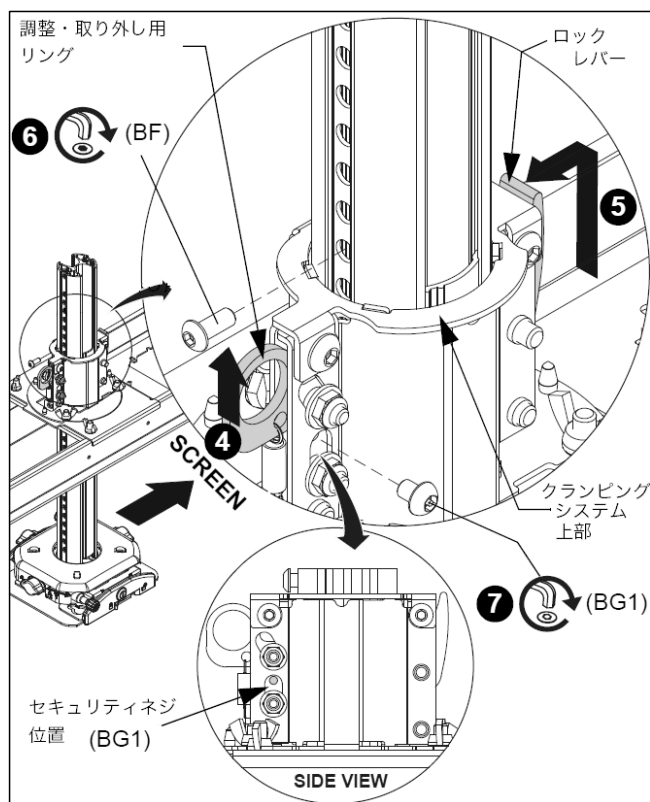
■プロジェクターマウント/ポール部の取付



【図-16】

1. プロジェクターマウント/ポール部を吊り下げプレートの下から取付けます。

NOTE: ここでスクリーンに対しプロジェクターが投影する方向を確認して設置してください。スクリーンからマウントを見て左側にプロジェクターマウントロックレバーが位置するようになります【図-16】



【図-17】

3. プロジェクターマウント/ポール部を上げて希望する高さに調整します。横穴に合わせてポールが止まる構造になっています。

4. プロジェクターマウント/ポール部を下げたい場合は、【図-17】の調整・取り外しリングを引っ張ってストッパーを緩めます。

NOTE: このとき必ずプロジェクターマウント部を支えながら行なってください。

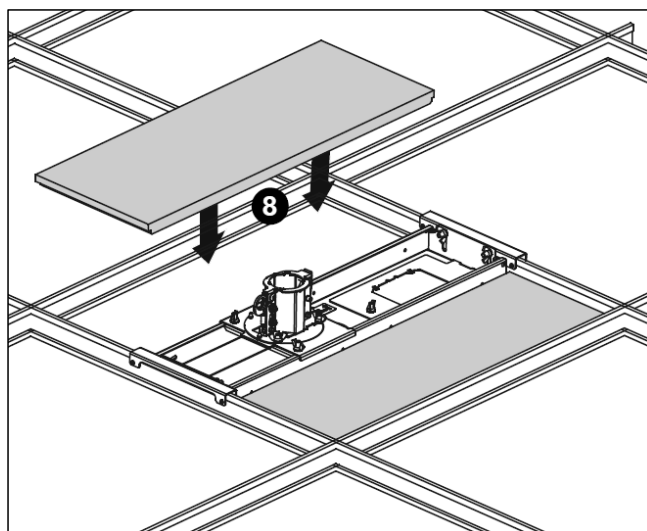
5. 【図-17】のロックレバーを押して固定します。

6. 付属ネジ (BF) を【図-17】のようにクランピングシステム上部から見える一番下のポール穴に差込みきつく締めます。

7. 付属ネジ (BG1) を【図-17】のように調整・取り外し用リングのすぐ下の部分に取付けます。取付穴部に関しては【図-17】 Side Viesの図もご確認ください。

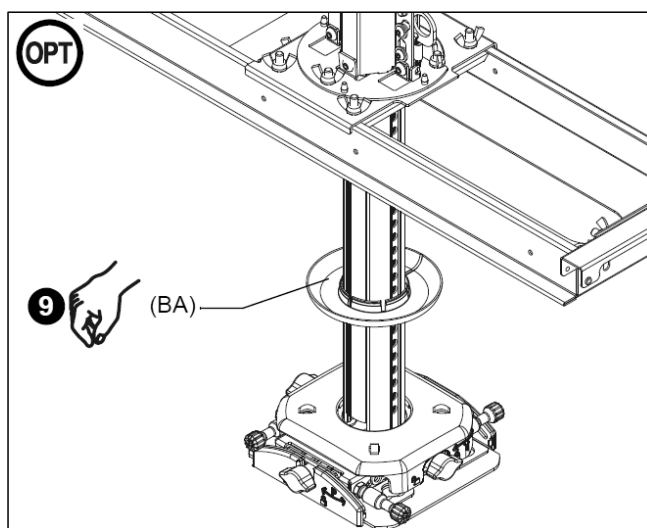
8. もしポールの長さが天井躯体に対し長すぎるようであれば、帯鋸などでポール長さをカットしてください。

重要！：次ページ【図-17】のように、ポール横の穴が上部クランピング機構から最低1個は見えるようにポール長さを保つようにしてください。



【図-18】

9. 吊り下げプレートのみをグリッド天井に設置する場合は【図-18】のように天井プレートを元に戻します。

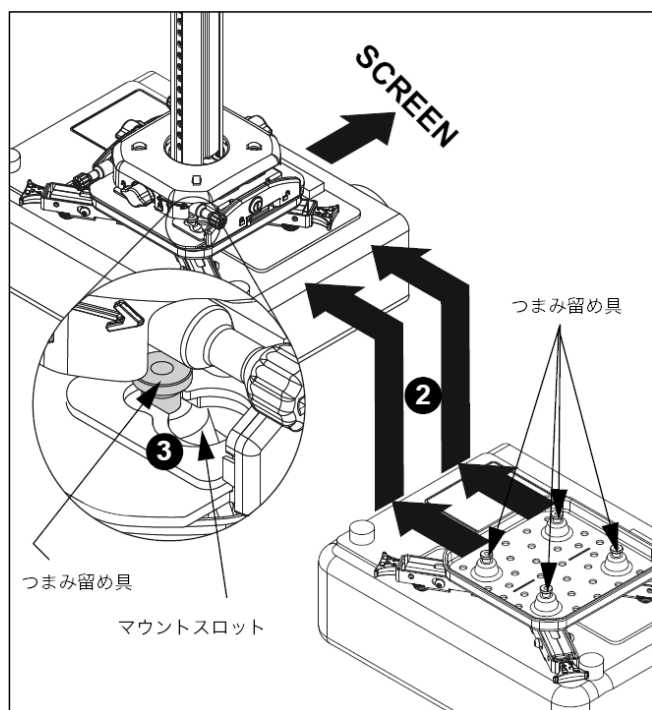


【図-19】

9. ポールトリムリング (BA) を取り付ける場合は、【図-19】のように、プロジェクターマウント/ポール部と吊り下げプレートの間に挟んで取付けてください。

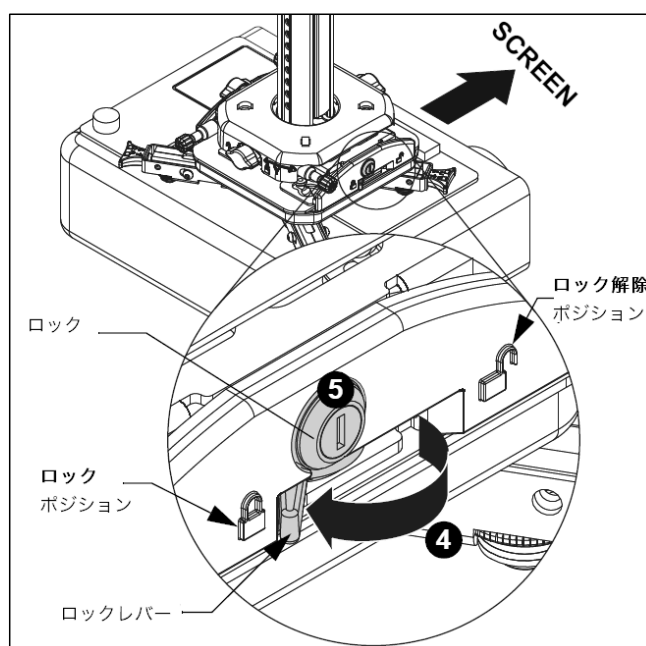
■プロジェクターの設置

注意：誤った設置によりプロジェクターが落下するなど、ケガや機材故障の原因となります。充分ご注意ください。



【図-20】

1. プロジェクターの投影方向をスクリーン側に合わせます。
2. 【図-20】のようにプロジェクターに取付たインターフェースプレートのつまみ留め具をプロジェクターマウント側のマウントスロットへスライドして差込みます。
3. 【図-20】拡大図のようにマウントスロットの狭い部分につまみ留め具がしっかり入るように差し込んでください。

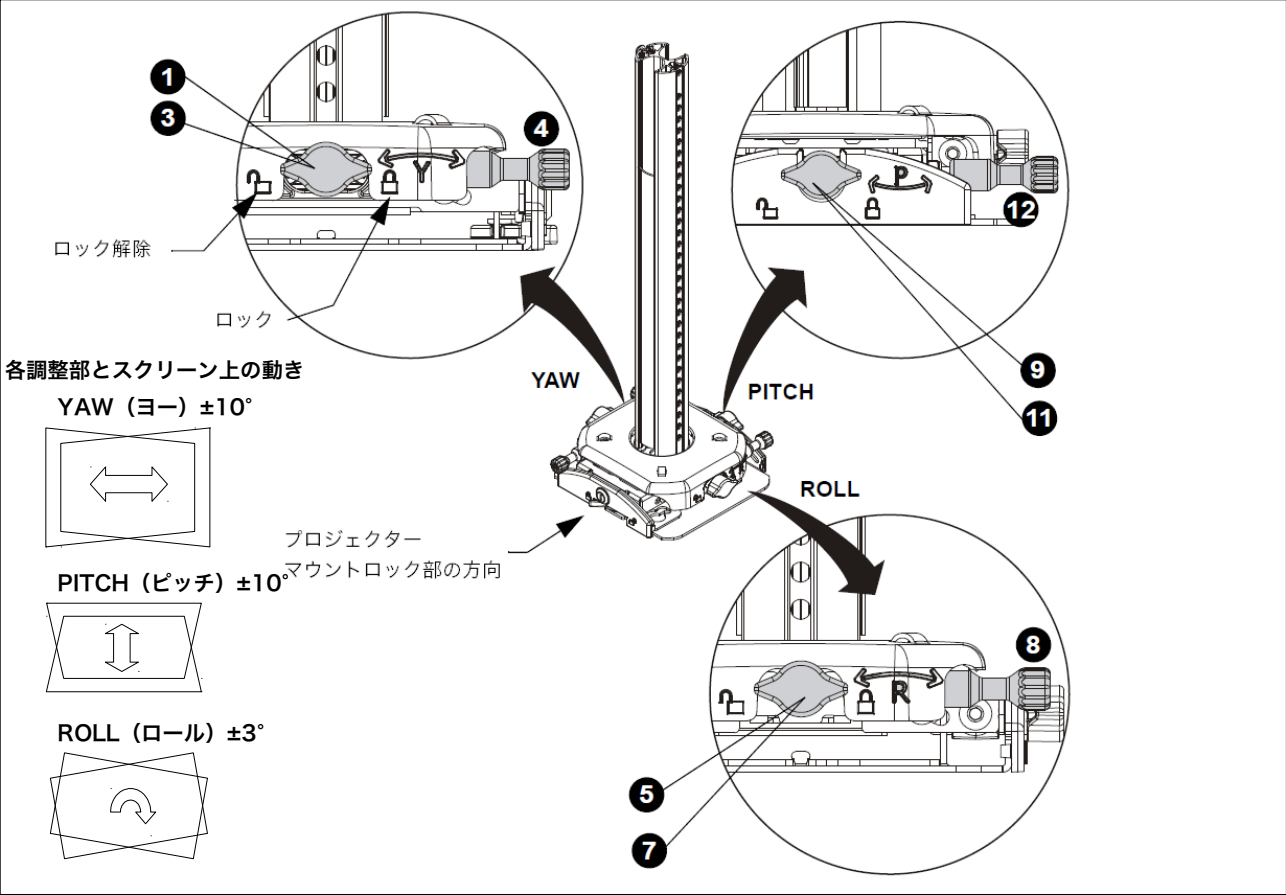


【図-21】

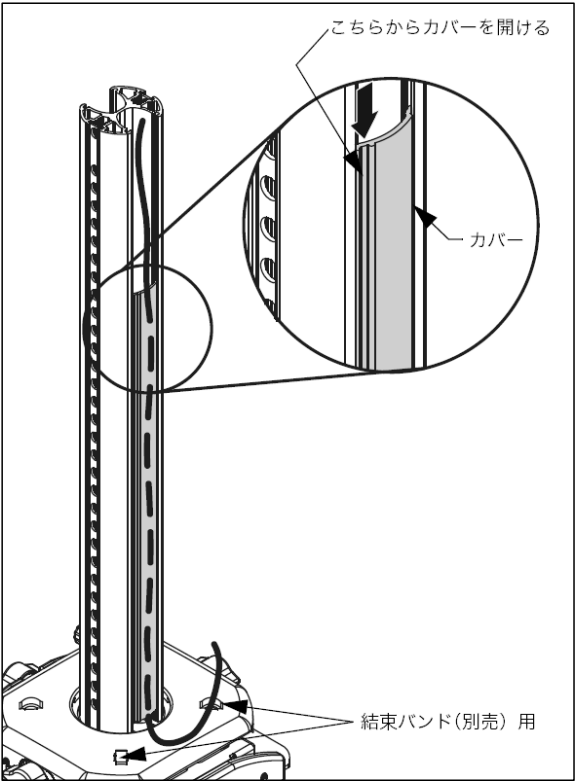
4. 【図-21】のようにロックレバーをロックポジションにします。
5. ロックキーをかけてプロジェクター本体とプロジェクターマウント部をロックします。

■画角調整

【図-22】を確認し、YAW（左右角）、PITCH（上下角）、ROLL（回転角）を調整します。



【図-22】



【図-23】

■ケーブルマネジメント

1. 【図-23】のようにボール穴に対して側面にはケーブルを中に通すことができるようカバーが付いています。
2. 必要に応じて、マウント部にケーブルを結束バンドで留めて下さい。

memo

– <http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8階
＜関 西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144